

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】



2025-No.3

2025年5月12日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13

TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

## 米兵による性的暴行事件に対し沖縄県議会が抗議決議



公務外の事件において日本側が容疑者の身柄を速やかに確保できるよう早急に改定」することを強く求めています。

[沖縄県議会抗議決議の全文はこちら](#)  
[議員提出議案第2号 抗議決議 \(在沖米海兵隊員による性的暴行事件\)](#)

### 日米 フォーラム 非公開で開催 —新たな対策はなし—

県議会で抗議決議が採択された同日、沖縄県の米軍キャンプ・フォスターにおいて「フォーラム」が開かれました。これは米軍関係者の犯罪抑止に向け県と日米の新たな協議体として設置されたもの。

琉球新報の報道では「新たな対策は発表されず、既存の対策を確認し合うにとどまった」とされています。

沖縄県議会は5月9日に開いた臨時会において、超党派議員の共同提案による「在沖米海兵隊員による性的暴行事件に関する抗議決議」を全会一致で採択し、米国政府及び米軍関係機関に送付しました。同時に「意見書」として日本政府関係機関に対して提出をしました。

決議では、県内で繰り返される米兵犯罪に対し、「再発防止に係る様々な取組はいまだ不十分」とし、再発防止のでだて、被害者への謝罪・補償など5項目にわたる要求を突き付けています。また、日米地位協定については抜本的改定を求めるとともに「特に刑事事件に関する身柄引き渡し条項については、

## タカラさちか(高良沙哉)さんが参院選出馬表明

今年7月に行われる第27回参議院議員選挙にあたって、憲法学者で沖縄大学教授のタカラさちかさん(46)が5月10日、那覇市内で記者会見を開き、沖縄選挙区から立候補することを表明。さちかさんには現職の高良鉄美参議院議員からバトンを受け継ぎ、オール沖縄の声を国会に届ける役割を担ってもらうことへの期待が集まっています。

タカラさちかさんは昨年の米兵による女性暴行事件に抗議する県民大会の実行委員会共同代表委員もつとめ、積極手的に決意表明では「県民の暮らしを圧迫する要素を一つ一つ取り除いていく」「私は憲法学者ですから、参議院議員として憲法を実践する決意です」と述べました。

さちかさんは今回、西田昌司参議院議員

の「ひめゆり記念館周辺の表示」についての事実と歴史をゆがめた妄言に対しても満身の怒りを表明しました。

玉城デニー知事からもメッセージが寄せられました。



参院選出馬表明をするタカラさちかさん(沖縄県統一連NEWS No.24-75から)